

社協だより 萩

Vol. 62

2015
7/1



しあわせな瞬間を
写真に撮りませんか

「しあわせ写真コンテスト」を始めて、今年で10回目になります。

このコンテストは、写真で日常生活にある笑顔、ふれあい、助けあい、交流する「しあわせな姿」を残し、いつまでも語り継いでいこうとするものです。

皆さんの日常生活の中にある、ふとしたしあわせな瞬間を写真に収めてみませんか。
たくさんのご応募、お待ちしております。

小地域からはじまる「福祉のまちづくり」

地区社協設置推進事業

本会では、地域住民が主体的にその地域の生活課題を話し合い、そして、その地域に合った取り組みを柔軟に進めていくことができるように、合併以後、平成17年度から町内会福祉部モデル事業、平成22年度から小地域福祉活動推進事業に取り組んできました。

この互いの顔が見える範囲で、生活問題を地域の課題として受け止め、地域の中で協議し、解決に向けて実践していくためには、その協議する場や活動の基盤となる組織が必要です。本年度から、この組織づくりを地区社協設置推進事業と位置づけ、地域福祉の推進を図ります。

地区社協とは

地区社協は、地域住民に最も身近な社協として、自分たちの生活する地域の生活・福祉課題を自分たちの課題として受け止め、みんなで解決に向けて協議、活動し、「住み慣れた地域で、誰もが、安心して、豊かに暮らし続けることができるまちづくり」を実現するために、地域住民主体で組織された任意団体です。

地区社協の必要性

萩市では、市町村合併による地域の広域化、高齢化率が50%を超え

る集落の出現、住民同士の関係の希薄化、生活・福祉課題の潜在化や複雑化など、小地域福祉活動の展開にかかわる環境がめまぐるしく変化しています。

このような変化に対応し、住民が自立して、安心して暮らすことができる「福祉でまちづくり」を進めるためには、つながり、支え合い、助け合いの再構築や住民、関係者、専門職による協働活動が必要なので、その中核として地区社協が改めて重要となっています。

地区社協の活動

身近な地域の皆さんが話し合いを重ねることによって、地域のよいところの再発見や解決しなければならぬ課題などが見えてきます。

地域の皆さんのアイデアをもとに、さまざまな活動を考えていくこととなります。

話し合しましょう

- 地域の問題を出し合しましょう。(問題を整理することで具体的な課題を見つけます)
- 解決するために目標を設定しましょう。
- 計画を立てましょう。

共有しましょう

- 課題解決には、地域全体で課題を共有する場が必要です。地域の理解とともに、担い手も増やすことができます。(研修会など話し合える場を設定し、アイデアを出し合う機会を作りましょう。)

取り組みましょう

- 役員や担い手で役割分担をして、活動の準備をしましょう。
- 実際に活動してみましょ。
- 活動後は評価し、次につなげましょう。
- 子どもも、高齢者も、障がい者も、楽しめるイベントづくりが必要です。



活動例

支え合う

ひとり暮らし高齢者などの
日常的な生活支援

- 買物、通院
- ゴミ出し
- 手作り弁当の配布



伝える

福祉情報の発信

- 地区社協だよりの発行
- 各種行事のチラシの配布
- 社協事業のチラシ配布



見守る

日常生活から自然の見守り

電気は？ カーテンは？ 新聞は？

訪問を通して見守り

- 配食サービス
- 声かけ

民生児童委員と福祉員との
連携による見守り

- 福祉マップ
- 情報交換会



ふれあう

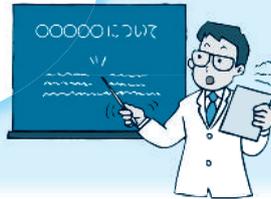
地域住民の交流

- 三世代スポーツ
- 文化伝承行事
- 健康づくり

学ぶ

福祉学習や住民対象の研修会

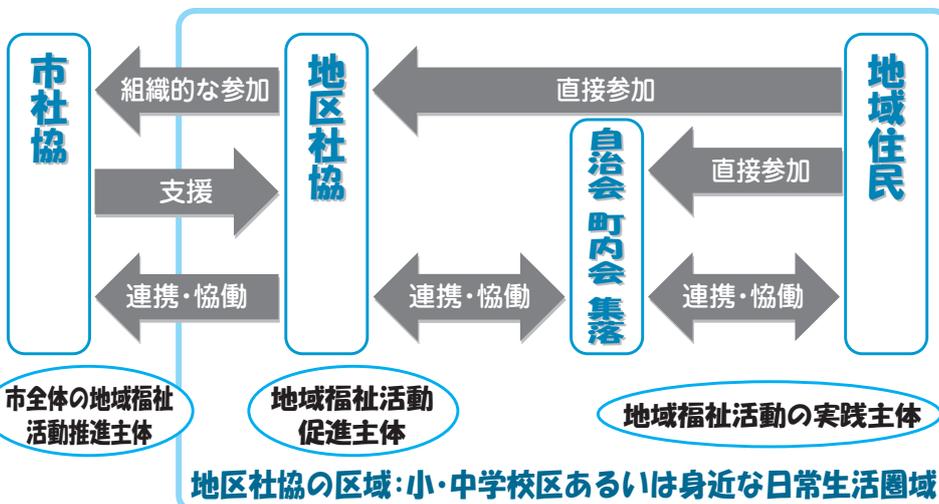
- 住民座談会
- 講演会の開催
- 小、中学校への福祉体験学習



地区社協と市社協との関係

市社協は、地区社協と連携・協働し、地域の生活福祉課題を把握し、一緒に考え、解決するために取り組んでいきます。

地区社協の組織化をはじめ、意見・情報交換、そして研修の機会を提供するなど、円滑な運営ができるよう支援するとともに、専門機関への橋渡しを行います。



福祉員を

ご存知ですか？

福祉員とは、萩市社会福祉協議会会長から委嘱を受けて活動する「小地区福祉活動の推進者」です。福祉員は、選出された地区を担当し、民生委員やボランティアなどと協力して、地域の福祉問題を発見し、解決する担い手として、期待されています。また、住民の皆さんに福祉活動参加の働きかけを行うことも大きな役割です。

きづく

生活のしづらさを抱えている人、気になることなど、地域の身近な福祉問題を発見することが活動の第一歩です。つまり、地域のアンテナ役です。

つなぐ

福祉問題を把握したら、民生委員などの関係者に連絡することが必要です。関係者が連携して地域の福祉問題への支援活動を効果的に展開するために、関係者同士が共通認識を持つことが大切です。

見守る

関係者が地域福祉問題について共通認識を持ち、連携してネットワークをつくり、日常的な支援活動を行います。福祉員は、ネットワーキングの要として、声かけや見守りによる支援活動へ参加し、問題解決の実践者としての役割があります。

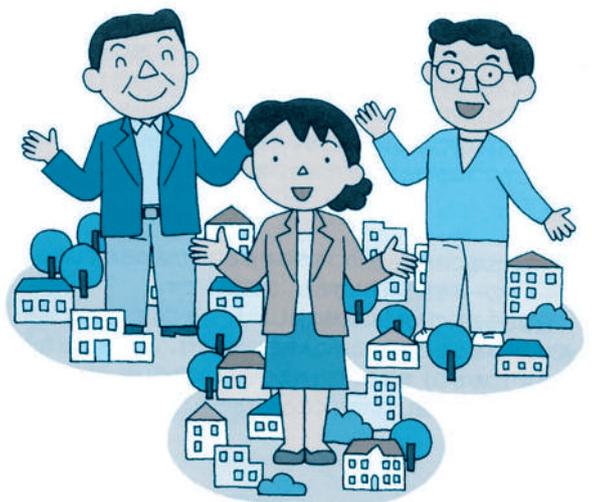
参加する

高齢者や障がい者、子ども、子育て中の親など、さまざまな住民が集まって楽しく過ごすことができる「ふれあい・いきいきサロン」や町内会福祉部活動などの中心的推進役を担っています。

■福祉員の状況

平成27年4月1日現在

地区名	小地域	行政区数	福祉員数	民生委員 児童委員数	主任児童 委員数
萩	川南	46	43	21	2
	川北	68	42	21	2
	椿東	57	54	26	2
	椿	15	15	9	2
	山田	20	23	10	2
	三見	17	17	7	2
	大井	21	15	8	2
	大島見	10	10	3	2
川上		15	34	7	2
田万川	江崎	29	29	8	2
	小川	25	25	8	
むつみ	吉部	33	30	7	2
	高俣	20	20	6	
須佐	須佐	29	28	11	2
	弥富	13	13	6	
旭	明木	21	21	4	2
	佐々並	11	18	4	
福栄	福井	26	26	7	2
	紫福	21	21	6	
合計		509	496	183	30



地域の福祉力を強め

ふつうにくらせるしあわせづくりを進めました

平成26年度は、小地域福祉活動推進事業の充実、災害時のボランティアスタッフの養成及び災害弱者支援の仕組みづくりを重点目標としました。

●小地域福祉活動推進事業の充実

誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを推進するため、地域福祉活動の要となる小地域における住民主体の福祉活動の仕組みづくり、小地域福祉活動推進事業に取り組みました。

のすすめ」を提唱しました。この減災のすすめについては、本会に要請のあった地域に職員を派遣し、マップづくりを行い、災害時に支援が必要な方の支援者を縁メモに整理することに取り組みました。

●災害時の

ボランティアスタッフの養成

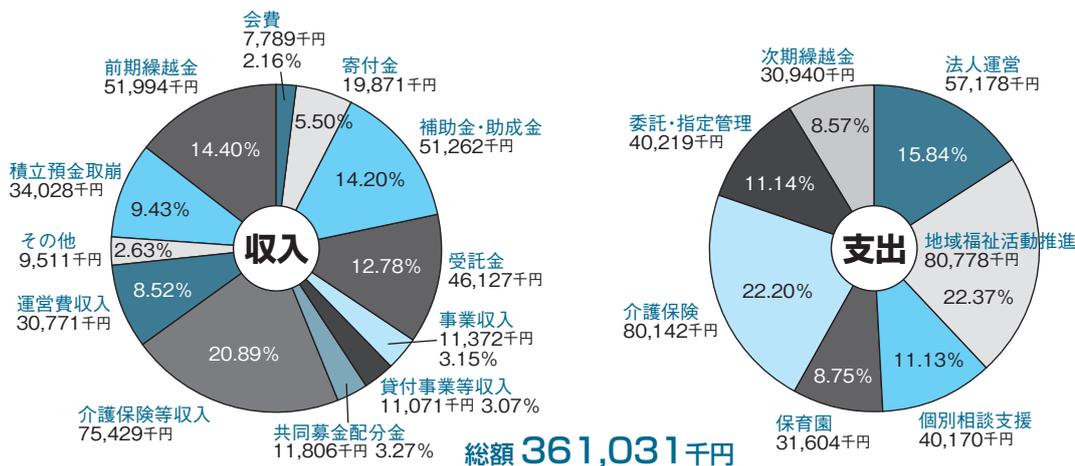
災害時のボランティアスタッフの養成では、災害ボランティアセンタースタッフ養成講座を須佐公民館で開催し、スタッフ登録を受け付けました。小中学校の児童、生徒を対象とした夏休み福祉体験学習として、防災キャンプを萩セミナーハウスで行いました。

●災害弱者支援の仕組みづくり

災害弱者を支援するため、「減災



平成26年度萩市社会福祉協議会決算概要



善意銀行 ありがとうございます

香典返し・玉串料返し・花料返し

氏名	住所	備考	金額
萩			
三井 信夫	大井浦中	妻/早苗	金一封
松浦 尚美	熊谷町の2	夫/孝之	金一封
河野 哲準	大井門前	母/菊江	金一封
久光 洋子	笠屋	夫/徹	金一封
河村 吉啓	玉江浦1区の1	父/定男	金一封
堀 孝道	平安古西区の3	母/アヤ子	金一封
来島 幹夫	堀内2区の1	父/成治	金一封
松屋 茂	倉江の2	母/静江	金一封
小池 松利	越ヶ浜5区	母/ハナ子	金一封
石川 照雄	中ノ倉の3	母/文子	金一封
吉光 皇典	大島東	父/通	金一封
森田 達治	恵美須町の1	父/伊代一	金一封
松浦 稲生	大井後地	母/操子	200,000円
藤田 嘉明	青海	父/省三	金一封
上田明紀人	土原3区の2	祖母/久江	金一封
大石 裕	江向4区の2	父/保	金一封
村上 康子	唐樋町の1	母/きみ子	金一封
秋尾 稔	越ヶ浜4区の1	母/静子	金一封
中原 章夫	見島7区	母/登美子	金一封
久保田勝巳	大井後地	父/進一	金一封
都志見徳宣	船津の2	祖父/邦彦	金一封
玉井 秀彦	東浜崎2区の1	母/住子	金一封
和田 清治	古魚店町	母/美枝子	金一封
永尾 道男	山田1区	母/テル子	金一封
波多野泰雄	御許町の1	妻/富恵	45,000円
中原 初恵	霧口	夫/俊之	金一封
金子 成志	上野の1	叔父/大史	金一封
梅月 茂明	大井円光寺	母/和代	金一封
奥平 淑子	土原2区の3	夫/忠	100,000円
木本 邦子	堀内2区の1	母/三浦幾代	金一封
守永 孝之	河添の1	母/米子	金一封
斉藤 満	椿河内	母/ナミ子	金一封
三浦 直人	堀内1区の2	母/美代子	50,000円
石橋 秀雄	堀内1区の1	母/ミヨ	金一封
横山 裕	霧口	父/正	金一封
大島光治朗	平安古西区の2	父/省一	金一封
三浦 均	長山	父/歳雄	金一封
後藤 英子	倉江の1	母/ムメ子	金一封
岡村みゆき	大島登	父/勉	金一封
小畑 天洋	見島8区	父/信夫	金一封
河内 成助	見島12区	妻/初江	金一封
中村 英子	大井本郷	長男/洋	金一封

寄付者の承認を得たもののみを掲載しています。
※平成27年3月1日～5月31日受付分（敬称略）

氏名	住所	備考	金額
阿部 菊子	三見蔵本	母/春子	金一封
高屋 勝	濁渕	母/昭子	金一封
高村 龍夫	平安古東区の4	母/智恵子	金一封
三浦 均	長山	母/一子	金一封
濱村 裕之	城東北区の1	母/美代子	金一封
三村 直充	三見石丸	母/スミ子	50,000円
黒瀬 賢児	樽屋町	父/正敏	金一封
郷本 崇	見島7区	父/克巳	金一封
新徳 邦治	見島8区	母/幸子	金一封
岡本 良雄	見島2区	母/秀子	金一封
匿名			金一封
川 上			
神崎 啓次	三徳	母/智代恵	金一封
田 万 川			
椿 一人	松崎	父/幸夫	金一封
鎌田 政康	要一	妻/壽美江	金一封
下 英樹	要二	母/澄子	金一封
品川 啓二	小川10区	母/美都女	金一封
野稲 忠男	下郷	母/豊子	金一封
阿部 志子	土居	父/勝	金一封
齋藤フサヨ	須佐地	夫/佳弘	金一封
中町美津子	上中町	夫/守男	金一封
品川 勉	小川9区	母/ウメヨ	金一封
石橋 房子	小川20区	夫/哲夫	金一封
中本美環子	本町	母/嘉子	金一封
岡本 俊彦	益田市あけぼの西町	母/富美子	金一封
石井 雅勝	大阪府河内長野市	父/嘉人	30,000円
原 忠男	本町	父/歳雄	金一封
む つ み			
山本 艶子	野田	夫/宏	金一封
種 民幸	金谷	妻/ミヨコ	金一封
内田美智子	深谷	夫/満昭	金一封
阿武 守	市上	祖母/静子	金一封
倉増 忠吉	中橋	父/吉男	金一封
竹重 範之	志和田	伯母/千代子	金一封
西村 宗吉	志和田	母/アキヨ	金一封
須山 克美	山口市阿東	柴田初代	金一封
服部 公司	市下	母/キミヨ	金一封
下瀬 進	小国	母/トミコ	金一封
内田 和徳	鈴倉	父/武	金一封
須 佐			
青原千枝子	弥富5区	夫/勇	金一封
柴田 篤	野頭	父/榮	金一封

緒方 法子	山根丁東	父／恭次	金一封
大野 喜弘	弥富10区	父／章盛	金一封
青木きくえ	浦中	父／橋本勘一	金一封
澄川 操	弥富8区	妻／ヨシ子	50,000円
仁保 正美	弥富7区	父／喜良	金一封
廣田 欽哉	山根丁東	母／久保井糸野	金一封
旭			
筒口 恭子	牛地	母／山藤昭子	金一封
阿部 清継	惣田	妻／孝子	金一封
伊藤 恵吾	牛地	父／進	金一封

内海 一	下横瀬	母／芳子	金一封
溝部 日出夫	長瀬	母／ウメ子	50,000円
斉藤 彬之	上市	母／美津枝	100,000円
林 典子	久年	夫／秀興	150,000円
福 栄			
品川 哲雄	永井	父／三孝	金一封
原田 知美	小西見	父／昭	金一封
大田 敏則	文捨	父／巖	金一封
野原 茂樹	小野田	母／時子	金一封
岡 誠	永田沖	母／美智枝	金一封

一般寄付

氏名	住所	備考	金額
萩			
匿名		社会福祉へ	550円
山口県立萩商工高等学校	平安古東区の3	社会福祉へ	11,483円
松浦 芳江	土原1区の1	社会福祉へ	金一封
匿名		社会福祉へ	50,000円
打明 幸子	青海	社会福祉へ	20,000円

氏名	住所	備考	金額
60才歳祝一同		一膳寄付	金一封
む つ み			
匿名			10,000円
旭			
田村八重子	成川	見舞返し	金一封
(香典返し・一般寄付合計 104件 4,139,944円)			

物品寄付

物品名	氏名	住所
萩		
四点杖、シャツ、オムツ	匿名	
車椅子1台	匿名	

物品名	氏名	住所
福 栄		
米60kg	田村 一男	

善意銀行は、地域福祉活動推進の貴重な財源となっています。どうかご協力ください。

お知らせ

むつみ・福栄で脳健康「楽習会」開催

認知症予防に効果のある脳健康「楽習会」を、むつみ会場と福栄会場で、それぞれ開催します。

- 募集期間 8月3日(月)～9月15日(火)
 - 募集人員 10名(楽習者の方のみ)
 - 対象者 介護保険の認定を受けていない方
 - 楽習期間 10月8日～3月24日
毎週木曜日 9時30分～10時30分
 - 内 容 簡単な読み書き、計算
 - 会 場 むつみ会場(むつみ地域世代間交流拠点施設)
福栄会場(福栄コミュニティーセンター)
 - 会 費 月2,300円(テキスト代込み)
 - 申込み先 むつみ事務所 (tel 08388-6-0237)
福栄事務所 (tel 0838-52-0338)
- ※どちらの会場も楽習支援サポーターも募集しています。

社協の会員会費のご協力を!

社協では、市民一人ひとりが身近な福祉問題や地域福祉について理解と関心を深め、社協活動に積極的に参加・協力いただくよう全世帯・事業所などの会員加入をお願いしています。

どうぞ趣旨をご理解いただき、会員としてご協力くださいますようお願いいたします。

会員会費の種類

会費の種類	□	金額
一般会費(世帯)	1	500円
法人会費(事業所)	1	3,000円
賛助会費(個人)	1	1,000円
団体会費(団体・施設)	1	2,000円

編集室

全国のおちらこちらで、大雨による被害が出ています。いつ、どこで災害につながるような大雨になるかわかりません。近所に危険な場所がないか、避難場所までの経路に危険がないか、今一度、確かめておきましょう。(も)



近畿地域の福祉活動
Report
地域密着



ご縁をつなぐ復興ウォーク

7・28豪雨災害から間もなく2年、着実に復興は進んでいます。五月晴れの心地よい風の中、須佐、田万川、遠くは山口市から150人の参加者が、50人の地域ボランティアの方と共に復興状況を見て、当時の様子を語り、また新たなご縁をつなぐ弥富から須佐までの12・5kmのウォーキングを楽しみました。

元気をいただきました

田万川地域 藤井 友絵

私は、給水所でもてなしを担当しました。中畑地区は被害が大きかったことは知っていましたが、災害後初めて被害状況を見て、改めて当時の様子を知りました。またこの梅雨時期になると、被災を受けた私は、いまだにあの日のことを思い出し不安に襲われます。

いよいよ参加者の方が給水所へ。給水所は一気に賑やかになり、どこから来られた誰かも知らない人といさつを交わり、冷たい飲み物をお出しすると、参加者から元気よく「ありがと」と。でも、私の方がたくさん元気をもらい、お礼を言いたい気持ちになりました。家族での参加、友達同士での参加、

お兄ちゃんがおいて行ったと泣き泣き歩く子ども。たくさん笑顔や「ご縁」を感じることのできるウォーキングに、ボランティアとして参加できたことをうれしく思います。

これからも共に

山口市 村田 守

あれから2年。当時、田万川・須佐地域にボランティア活動に数回参加していたので、復興の状況が気になりウォーキングに参加しました。歩いてみると、まだまだ手つかずかなと感じる部分もありましたが、道路や河川の復興状況を見ると随分きれいになってきたことに驚きました。

被災当時から、田万川・須佐地域の方は、前向きで暗い印象はありませんでしたが、この日も地域のボランティアさんの明るく元気なあいさつや心温まるおもてなしを感じる事ができ、うれしい気持ちになりました。

私たちボランティアは、地域の皆さんを遠くから応援することしかできません。また、できることがあるなら遠慮なく声をかけてほしい。この災害によってつながれた「ご縁」を大切に、この地域の方と一緒に頑張っていきたいと考えています。